

科目名	輸血移植検査学 (Blood Transfusion and Transplantation Medicine)			科目コード	433
開講学科	臨床検査学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (15時間)
科目区分	専門科目	履修時期	3 年次前期	関連DP	臨②③⑤
担当教員	山田 武司、山岡 源治				
授業概要	輸血・移植医療の臨床的意義、輸血に伴う副作用、移植拒絶反応、血液型とHLA型検査の基礎を教授する。				
授業目標	<p>輸血医療や臓器移植医療の分野において、輸血移植検査は臨床的にも社会的にも特に重要な検査であることを理解し、それらを行うための基本的知識を習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 輸血や臓器移植の副作用について説明できる。 2. 血液型 (ABO型及びRh型) 検査の臨床的意義を説明できる。 3. 不規則抗体の臨床的意義およびその検出方法を説明できる。 4. 交差適合性試験を論理的に説明できる。 5. 組織適合性抗原の機能と臨床的意義を説明できる。 				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1	総論 (1)	輸血・臓器移植の意義と副作用、輸血副作用	山岡源治
2	総論 (2)	GVH 反応、拒絶反応、輸血製剤	山岡源治
3	各論 (血液型 1)	血液型全般、糖鎖抗原、ABO 血液型	山田武司
4	各論 (血液型 2)	Lewis 式血液型、他の糖鎖血液型	山田武司
5	各論 (血液型 3)	糖蛋白抗原、Rh 血液型	山田武司
6	各論 (血液型 4)	MNS, Duffy 血液型、他の糖蛋白血液型	山田武司
7	各論 (移植と検査)	移植と拒絶反応・GVHD、移植前の検査	山田武司
8	各論 (免疫抑制剤)	免疫抑制剤と作用機序、再生医療	山田武司
成績評価方法		定期筆記試験 (山田 75%、山岡 25%) で判定する。	
教科書		JAMT「輸血・移植検査 技術教本」(丸善出版)、配布プリント	
参考図書等		JAMT「臨床免疫検査 技術教本」(丸善出版)	
授業時間外の学習について		授業での理解が進むよう各項目の内容について、教科書を用いた予習・復習を少なくとも各 1 時間程度行う。	
関連科目		433 本科目 ⇒ 434 輸血移植検査学実習 (その他) 共通科目 121 生物学、126 生命科学 専門科目 430 免疫学、431 臨床免疫学、411 血液学、412 臨床血液学	
備考		<p>実 山岡：臨床検査技師 (医療機関)</p> <p>授業内容を復習し、知識・理解を確実にした後、次の講義の概要を予習する。随時必要に応じてプリントを配布する。</p>	